ASKA Pharmaceutical Co., Ltd.

第86期中間事業報告書

平成17年4月1日から平成17年9月30日まで

先端の創薬を通じて
人々の健康と明日の医療に貢献する



あすか製薬株式会社

CONTENTS

株主の皆様へ …… 1
営業の概況 …… 2
中間連結財務諸表 …… 3
中間財務諸表（個別） …… 4
業績の概況（連結） …… 5
トピックス …… 6
主要製品 …… 7
株式の概況 …… 9
会社の概要 …… 10
役員 …… 10
株主メモ …… 11

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申しあげます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

平成17年10月1日付けで帝国臓器製薬とグレラン製薬が合併し「あすか製薬」として発足いたしました。無事合併できましたことは、ひとえに株主様一人ひとりの本合併へのご理解とご協力の賜物と感謝しております。

ここに、第86期中間期（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申しあげます。

国内医薬品市場は、少子高齢化を背景とした医療制度改革が推進されるなか、昨年4月に実施された業界平均4.2%の薬価基準引き下げの影響や競争の激化により依然として厳しい経営環境が続いております。当社はこのような情勢に対処するため、領域を絞った新製品開発に経営資源を集中し、強い新薬開発型企業を目指しております。「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する」ことを経営理念とし、法令遵守、倫理的な経営のもと、「社会に貢献し信頼される会社」として発展していきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申しあげます。

平成17年11月



代表取締役社長
山口 隆

営業の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、設備投資や個人消費が堅調に推移し、また企業収益の改善もみられ、緩やかな回復基調で推移しました。

医薬品業界におきましては、医療費抑制策の継続基調は変わらず、昨年4月に実施された業界平均4.2%の薬価基準の引き下げや後発医薬品使用の促進などにより、市場環境は引き続き厳しい状況のもとに推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループ（旧帝国臓器製薬グループ）は経営全般にわたる選択・集中化、医薬営業体制の強化、適正な医薬情報活動に取り組み、競争激化の影響を受けながらも、当中間連結会計期間の売上高は110億6千6百万円（前年同期比9.8%増）となりました。利益面では人件費をはじめ販売費等の節減に努めました結果、経常利益が10億1千6百万円(前年同期比143.7%増)、中間純利益は4億1千4百万円（前年同期比71.3%増）となりました。

各分野における売上状況は、医薬品分野では消化性潰瘍・胃炎治療剤「アルタット」、前立腺肥大症・癌治療剤「プロスタール」、甲状腺ホルモン剤「チラーヂン」、高脂血症治療剤「ラミアン」および経口避妊剤「アンジュ」等の産婦人科製品、平成17年7月に上市いたしました尿失禁・頻尿治療剤「ミクトノーム」、前立腺肥大症の排尿障害改善剤「リストリーム」ならびにコ・プロモーション製品を中心に販売努力をいたしました結果、売上高は101億3千6百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

動物用医薬品分野では主力製品の繁殖用製剤「セロトロピン」、「レジプロン」、消化器用剤「エンドコール」、犬糸状虫症予防剤「ハートメクチン」、牛用発情周期同調剤「プリッド テイゾー」、牛用性腺刺激ホルモン放出ホルモン製剤「コンサルタン」を中心に販売努力をいたしました結果、売上高は5億1百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

そのほか、原料薬品、食品、医療用具、滅菌、検査等の各分野におきましては、それぞれ市況の厳しさが続くなかで鋭意販売努力をいたしました結果、特に健康食品の売上が伸び、これらの合計売上高は4億2千7百万円（前年同期比34.1%増）となりました。

生産面におきましては、一層の生産の効率化、品質の向上とともに計画に則した生産を順調に達成することができました。また改正薬事法への万全な対応をいたしました。

研究開発面におきましては、医療用医薬品・下垂体性性腺刺激ホルモン製剤「ゴナピュール注用75・150」につきましては3月15日付けで製造承認を取得し、10月12日より発売しております。

次期新製品につきましては、製造承認申請中のものにGRS－017（解熱鎮痛剤、一般用医薬品）があります。RPR106522（更年期障害治療剤、フェーズIII、平成19年度上市予定）およびBNP7787（抗がん剤補助療法剤、フェーズIII、平成22年度承認予定）は、早期上市を目指して共同開発先との密接な連携により効率的な開発を進めております。なお、TZT－1027につきましては、平成17年4月に第一製薬とのライセンス契約を終了し、現在新たな導出先を探す活動を継続しております。

当中間連結会計期間における設備投資額は2億7千8百万円で、その主なものは研究設備ならびに生産設備等であり、全額自己資金によって賄っております。

当中間連結会計期間においては、社債の発行、増資等による資金調達は行っておりません。

今後の医薬品業界は、医療の標準化・包括化、医療費・薬剤費抑制策の影響を受け、引き続き厳しい経営環境が予測されます。

このような環境のなか、当社は平成17年10月1日にグレラン製薬と合併し「あすか製薬」としてスタートいたしました。今後は統合業務を計画的に推進し、合併によるシナジー効果の早期実現化を目指します。

研究開発面では、前臨床、臨床の各ステージにある開発品のステージアップをはかるとともに導出入活動にも注力してまいります。販売面では、医薬品分野では質の高い医薬情報活動と新上市品による売上高の増加を目指します。また動物用医薬品分野につきましては、前年度後半に上市した繁殖用薬2品目による売上高の増加を目指します。費用面では、合併に伴う一時的支出がありますが、効率的な使用、要員の適正化などにより低コスト経営、体質強化に努めてまいります。また、株主の皆様はもとより、広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報を積極的かつ公正に開示するようIR活動を推進してまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

中間連結財務諸表

■中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

区分＼期別	前中間期末 平成16年9月30日現在	当中間期末 平成17年9月30日現在
資産の部	44,982	46,173
流動資産	23,951	23,822
現金及び預金	11,083	9,385
受取手形及び売掛金	8,433	9,387
その他	4,434	5,048
固定資産	21,031	22,351
有形固定資産	9,727	9,381
無形固定資産	73	87
投資その他の資産	11,230	12,882
投資有価証券	6,687	9,088
その他	4,543	3,794
資産合計	44,982	46,173

区分＼期別	前中間期末 平成16年9月30日現在	当中間期末 平成17年9月30日現在
負債の部	12,105	13,310
流動負債	5,719	6,896
固定負債	6,385	6,413
資本の部	32,877	32,862
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	30,226	30,264
その他有価証券評価差額金	964	2,169
自己株式	△ 356	△ 1,614
負債及び資本合計	44,982	46,173

■中間連結損益計算書

（単位：百万円）

区分＼期別	前中間期 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	当中間期 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで
売上高	10,075	11,066
売上原価	2,685	3,138
返品調整引当金繰入額	△ 1	△ 2
販売費及び一般管理費	7,030	6,987
営業利益	361	942
営業外収益	110	199
営業外費用	54	124
経常利益	417	1,016
特別利益	108	233
特別損失	31	452
税金等調整前中間純利益	494	797
法人税、住民税及び事業税	338	436
法人税等調整額	△ 86	△ 53
中間純利益	241	414

■中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

区分＼期別	前中間期 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	当中間期 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	879	690
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,641	△ 114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 317	△ 1,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,079	△ 664
現金及び現金同等物の期首残高	12,163	10,049
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,083	9,385

中間財務諸表（個別）

■中間貸借対照表

（単位：百万円）

区分＼期別	前中間期末 平成16年9月30日現在	当中間期末 平成17年9月30日現在
資産の部	44,866	45,734
流動資産	23,722	23,595
現金及び預金	10,807	9,111
売掛金	8,184	9,147
その他	4,730	5,336
固定資産	21,144	22,138
有形固定資産	9,726	9,380
無形固定資産	73	87
投資その他の資産	11,345	12,670
投資有価証券	6,893	8,981
その他	4,451	3,688
資産合計	44,866	45,734

区分＼期別	前中間期末 平成16年9月30日現在	当中間期末 平成17年9月30日現在
負債の部	11,991	12,916
流動負債	5,701	6,624
固定負債	6,289	6,291
資本の部	32,875	32,818
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	845
利益剰余金	30,225	30,219
株式等評価差額金	964	2,169
自己株式	△ 356	△ 1,614
負債及び資本合計	44,866	45,734

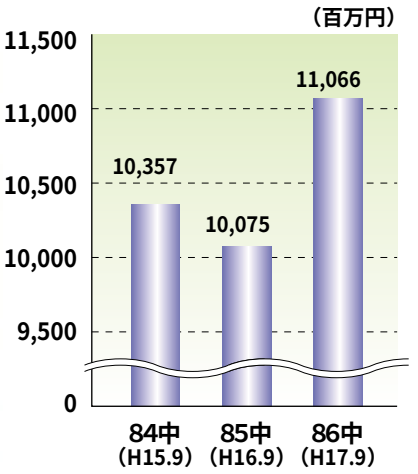
■中間損益計算書

（単位：百万円）

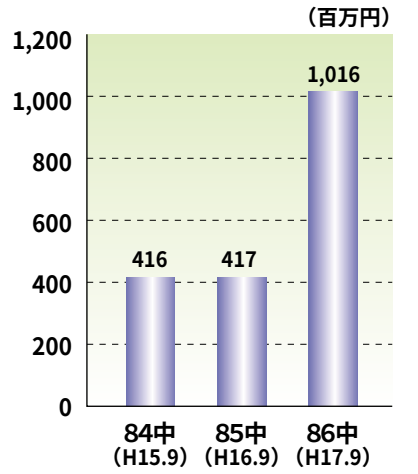
区分＼期別	前中間期 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	当中間期 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで
売上高	9,933	10,936
売上原価	2,616	3,084
返品調整引当金繰入額	△ 1	△ 2
販売費及び一般管理費	6,985	6,954
営業利益	332	900
営業外収益	126	214
営業外費用	54	122
経常利益	404	993
特別利益	108	233
特別損失	31	452
税引前中間純利益	481	774
法人税、住民税及び事業税	338	429
法人税等調整額	△ 85	△ 54
中間純利益	228	399
前期繰越利益	1,213	1,036
中間未処分利益	1,442	1,436

業績の概況（連結）

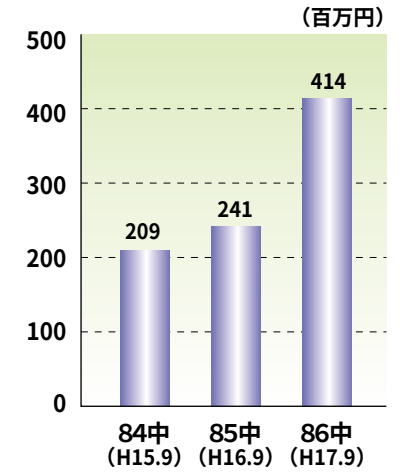
売上高



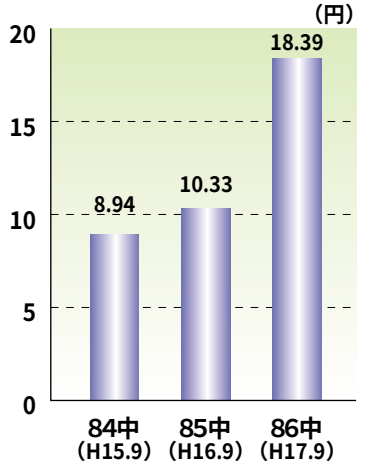
経常利益



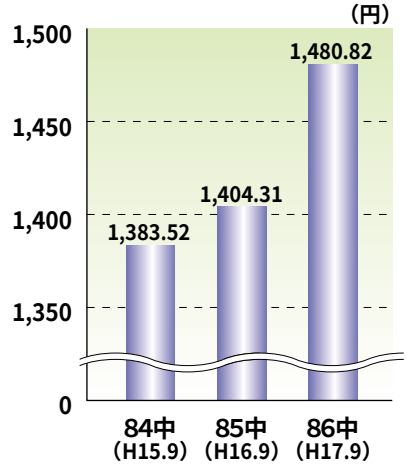
中間純利益



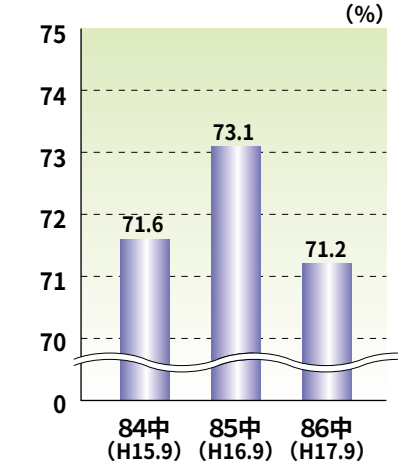
1株あたり中間純利益



1株あたり純資産額



自己資本比率



トピックス

●あすか製薬の研究、生産、営業拠点



西東京事業所
西東京研究所
西東京工場



川崎事業所
川崎研究所



いわき工場



本社

あすか製薬の発足に伴い研究拠点、生産拠点が増加しました。将来的には統合する予定です。営業拠点は12支店・13営業所で変わりはありません。



●あすか製薬ホームページを開設

あすか製薬のスタートとともに、トップページや各ページのイメージを刷新し、内容も一層充実させて、より見やすく分かりやすいホームページを開設いたしました。
URLはhttp://www.aska-pharma.co.jp/です。





主要製品

●医療用医薬品

内科（消化器科・循環器科）、泌尿器科、耳鼻咽喉科を中心に、産婦人科、整形外科、甲状腺疾患領域にも品揃えを展開しています。

消化器科	アルタット	イサロン	
循環器科	リピディル	ラミアン	リバンチル
泌尿器科	プロスタール		
耳鼻咽喉科	アクディーム	ベストロン	アルロイヤー
産婦人科	フェミエスト	アンジュ	
整形外科	ワークミン		
甲状腺疾患	チラーヂン		



消化性潰瘍・胃炎治療剤
アルタットカプセル37.5・75

6員環を基本骨格とするユニークな化学構造を有する自社開発のH_2受容体拮抗剤です。



前立腺肥大症・癌治療剤
プロスタール錠25

徐放性前立腺肥大症治療剤
プロスタールL錠

前立腺縮小効果を有する国内初の経口抗男性ホルモン剤です。



甲状腺機能低下症治療剤
チラーヂンS錠25・50・100

甲状腺機能低下症等の治療剤として、国内で9割以上のシェアを有しています。



高脂血症治療剤
リピディルカプセル67・100

世界90カ国以上で販売されているフィブラート系高脂血症治療剤です。

●一般用医薬品



アルファ型天然ビタミンE製剤
トコロールEゴールド

末梢血行障害および更年期における諸症状を緩和します。



鎮痛・解熱剤
グレランエース錠

効果の発現が早く、持続性にも優れた、1日2回投与の非ピリン系鎮痛解熱剤です。



筋緊張改善剤
ドキシン錠

肩こり・腰痛・筋肉痛を改善する内服薬です。



唾液腺ホルモン・ビタミン配合製剤
パロチモン

唾液腺機能の低下に伴う歯槽膿漏症、胃下垂症、指掌角皮症等を改善します。

●動物用医薬品



牛用発情周期同調剤
プリッド テイゾー

フランスのセバ社が開発した発情周期同調剤で、世界標準として支持されています。



犬用健康補助食品
アシスハートQ10

「コエンザイムQ10」と「心臓エキス」を主原料とした犬用健康補助食品です。

●健康食品



健康食品
デファット

米胚芽抽出物にペクチン含有アップルファイバーを加えたダイエット食品です。



栄養補助食品
ペプローゼ

ローヤルゼリーペプチドにローヤルゼリーを加え、タンパク質の吸収を高めました。

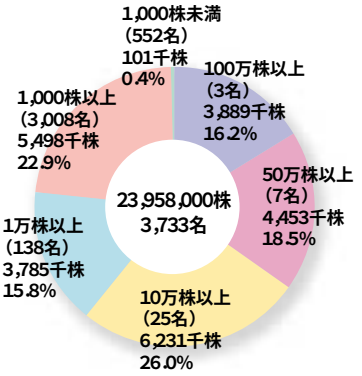
株式の概況
（平成17年9月30日現在）

●株式の状況

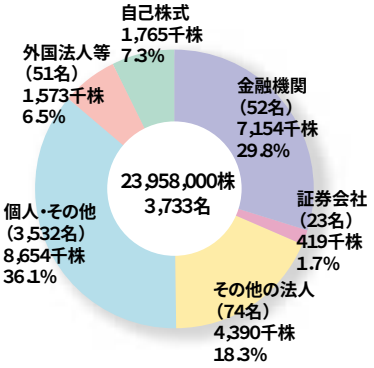
発行済株式の総数	23,958,000株
株主数	3,733名

●株式の分布

【所有株数別】



【所有者別】



●大株主の状況（上位10名）

株主名	所有株数（千株）	持株比率（%）
株式会社東京三菱銀行	1,062	4.4
山口　隆	1,060	4.4
武田薬品工業株式会社	914	3.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	850	3.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	598	2.4
日本生命保険相互会社	579	2.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4）	511	2.1
トーア再保険株式会社	500	2.0
ビービーエイチボストンハートランドバリューファンドインク	500	2.0
ニッセイ同和損害保険株式会社	480	2.0

（注）1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は小数第2位を切り捨てて表示しております。
3. 当社は自己株式1,765千株を保有しております。

会社の概要
（平成17年10月1日現在）

社　　名	あすか製薬株式会社
設　　立	昭和4年6月28日 （創立　大正9年6月16日）
資 本 金	11億9,790万円
主な事業内容	医薬品、動物用医薬品、医薬部外品、 食品、医療機器の製造・販売および 輸出入など
主な事業所	
本　　社	東京都港区芝浦二丁目5番1号
研 究 所	川崎研究所（神奈川県川崎市） 西東京研究所（東京都羽村市）
工　　場	いわき工場（福島県いわき市） 西東京工場（東京都羽村市）
支　　店	札幌支店、東北支店、東京支店、 千葉・埼玉支店、横浜支店、北関東支店、 甲信越支店、名古屋支店、京都支店、 大阪支店、中四国支店、福岡支店
従業員数	1,087名 （子会社への出向者25名、組合専従者3名を含めておりません）

役　　員
（平成17年10月1日現在）

役　　員	代表取締役社長	山口　隆
	代表取締役副社長	野口尚志
	専務取締役	山口雅夫
	専務取締役	金澤　一
	常務取締役 管理本部長	小堺清文
	取締役 研究開発統括本部長・信頼性保証本部担当	奥村　一
	取締役 管理本部副本部長兼経営企画部長	大竹　充
	常勤監査役	清原英之助
	常勤監査役	鈴木光男
	監査役	飛田秀成
	監査役	堀之内建二
執行役員	上席執行役員 国際業務部担当	小西邦弘
	上席執行役員 特命事項担当	船津譲一
	執行役員 経営戦略室長	鈴木　肇
	執行役員 生産本部長	萬矢裕俊
	執行役員 医薬営業本部長	杉本隆雄
	執行役員 川崎事業所長兼川崎研究所長	堀内　敏
	執行役員 総務人事部・法務広報部担当兼人材開発センター長	横山義廣
	執行役員 開発本部長	才田　修
	執行役員 診断薬事業部長兼アニマルヘルス部担当	應矢誠司
	執行役員 西東京事業所長兼西東京研究所長	青塚知士

株主メモ

決算期	3月31日
利益配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
（同送付先）	〒137－8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
上場証券取引所	東京証券取引所
公告掲載紙	東京都において発行される日本経済新聞

お知らせ

●株式関係のお手続き用紙のご請求は、
次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

電話（通話料無料）　0120-244-479（本店証券代行部）
0120-684-479（大阪証券代行部）
インターネットホームページ　http://www.tr.mufg.jp/daikou/

●合併に伴う株券のお引換えについて
お手もとに旧帝国臓器製薬株式会社の株式または旧グレラン製薬株式会社の株式をお持ちで、株券お引換手続きをまだお済ませになられていない場合は、お早めにお引換手続きをお済ませ下さい。
なお、お引換手続きにつきましては、新株券の交付まで約2週間を要しますのでご了承下さい。

（注）1. 旧帝国臓器製薬株式会社の株式は、平成18年4月3日(月)受渡し分〔実質上は平成18年3月28日(火)売買成立分〕以降は証券取引所において流通いたしません。
2. 証券保管振替機構に株券をご預託されている方、登録不発行株式、株券不所持のお申し出をされている株式および単元未満株式のみをご所有の方は、株券引換のお手続きは不要です。
3. 旧グレラン製薬株式会社の株式のお引換えにあたりましては、株式1株に対し、新株式1.5株が割当てとなります。

あすか製薬株式会社

本　社　〒108-8532　東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL.03（5484）8361㈹　FAX.03（5484）8351
http://www.aska-pharma.co.jp/

R100 古紙配合率100%を使用しています。
PRINTED WITH SOYINK 本誌は大豆油インキで印刷しています。